



○事業目的：牧野植物園の有するポテンシャルを最大限に引き出し、「世界に誇れる総合植物園」となるよう磨き上げを図る。

### 磨き上げ整備の方向性

#### 観光振興への貢献

- ・牧野植物園のお宝(本物)を生かす
- ・四季折々の多様な植物や立体地形を生かす
- ・研究型植物園の強みを生かす ・五台山の立地を生かす

#### 研究・産業化への貢献

- ・研究活動の一般公開、研究機能の見える化
- ・オープンイノベーションの推進
- ・海外産や牧野博士にちなんだ植物の有用成分の探査の加速化

#### 教育への貢献

- ・教育プログラムの充実
- ・第2、第3の牧野博士の育成
- ・生涯学習の場としての利用拡大
- ・体験学習の場としての園地整備

#### 「インプット」

魅力・価値を最大化するための方策

◎第一期構想の考え方:速やかに着手する整備

### 磨き上げ整備後の植物園の機能 第一期構想の概要

#### ◇シビック・プライドの拠点

- ・県民、国民が誇る植物園
- ・世界中の人々に愛される憩いの場

#### ◇イノベーション(知)の拠点

- ・内知と外知が響き合うオープンイノベーション
- ・未知の価値を創出し、世界に発信する研究型植物園

#### ◇宝の人材を育成する拠点

- ・子どもたちが自然に親しみながら探究心を育む教育の場
- ・第二の牧野博士を育む植物園

#### ①仮称:ファミリー園1.7ha

- 機能
  - ・子どもから大人までが植物に親しみながら自由にのびのびと過ごす、五台山からの美しい眺望が見渡せる芝生広場。コースに合わせた多彩なフラワーイベント
- 期待される効果
  - ・多くの人々が自然の中でゆっくりと過ごすことができる場の提供による来園者の増加
  - ・フラワーイベントの開催による集客力のアップ
  - ・遠足、修学旅行等団体客の増加

#### ②仮称:スタディ園 0.9ha

- 機能
  - ・子どもから大人までが植物と触れ合いながら学んで遊べるエリア
  - ・コースに合わせた体験型コース
- 期待される効果
  - ・自然の中での学習の場を提供できる。
  - ・植物と触れ合うことによって、自らが気づき、学ぶことの喜びを知ることができる。
  - ・植物と人間の営みとの関わりを再発見し、生き物を大切にすることを育むことができる。
  - ・体験プログラムの充実 ・体験型の遠足や修学旅行の増加

### ③仮称:研究棟・お宝展示館の新設

・CLT構造・2階建・建築面積:1,200㎡

#### 研究機能

・市民、子供たちへの開放 ・研究者への開放

#### ◆オープンラボラトリー

- 機能
  - ・国内外の研究者との共同研究・交流
  - ・学会等のコンベンションの開催

#### ■期待される効果

- ・国内外の研究者との交流による研究水準の向上、有用成分の探査の加速化
- ・世界における牧野植物園の知名度の向上
- ・本県における植物多様性保全に向けた研究の進展
- ・大学との連携による大学生の利用拡大

#### ◆研究成果の見える化・展示

- 機能
  - ・研究施設の見学(可視化スペース)
  - ・研究施設の案内ガイド(スタディ園体験学習との組み合わせ等)
  - ・子どもたちの研究体験や研究者との交流
  - ・研究成果の展示・発表

#### ■期待される効果

- ・研究活動への興味、深化
- ・子どもたちの豊かな好奇心や探究心が育まれる
- ・探究することの喜び、大切さを学べる
- ・学校プログラム充実による学校教育への貢献

#### お宝展示機能

・牧野博士の残したものに触れ合えるお宝展示、植物(生命)の本質が学べるシアター

#### ◆VR・8Kシアター

- ・30~50席 <12m×4m 3面カーブドスクリーン>
- 機能
  - ・VRの圧倒的な臨場感と没入感で、牧野博士が作製した標本や植物図の世界をバーチャル体験し、植物の神秘に迫る。
  - ・驚異的な技で描かれた牧野博士の植物図を高精細・臨場感あふれる映像で体感

#### ■期待される効果

- ・最新技術によって、時空を超えて牧野博士のたくいまれな観察力と好奇心に触れることができる。
- ・肉眼で見られない植物の神秘を体感し、感動できる。

#### ◆お宝展示スペース

- 機能
  - ・世界に誇る牧野植物園のお宝をダイナミックに展示(検討中) 植物図:200点、標本:10点、蔵書:10冊
  - ・お宝の価値を伝える講座の定期開催

#### ■期待される効果

- ・本物に出会える喜びがある。・牧野博士の功績を再認識し、誇りに思う。

#### ソフト事業

- ◆プロモーション強化
- ◆四季折々のおもてなしイベントの開催
- ◆園内ガイドの充実 時間別、テーマ別(花、歴史、研究等)
- ・ガイドの養成及び確保 ・講座の定期開催、コースの充実等
- ◆世界有数の植物園との交流
- ◆案内表示の整備(インバウンド対策等)
- ◆夜の植物園の拡充
- ◆雨の日限定サービス
- ◆薬用植物を生かした商品、教室、飲食メニューの開発
- ◆五台山周遊観光コースの働きかけ 等

- ◆海外産生業のエキス化の加速
- ◆牧野ブランドの商品化に向けた研究(牧野博士にちなんだ地産有用植物の商品開発)
- ◆研究成果の公開・情報発信(H29年12月~H30年5月:ミャンマー展等)

- ◆教育プログラムや体験教室の充実及び指導者の養成
- ◆(再掲)園内ガイドの充実
- ・ガイドボランティアの養成及び活動支援
- ・各種教室の講師の養成及び確保
- ・講座の定期開催、教室の充実等

#### 機能強化を支える整備

- ◆五台山周遊コース道路の新設
- ・五台山公園~牧野植物園ショートカットコース